

## 2025年度 高校入試問題（社会）の解説

### ◎地理

#### 【1】【2】地理

【1】は世界地理に関する問題です。

問1 基本的な問題です。国名から場所を選ぶ問題となっています。教科書に出てくる国の場所は把握しておくといいでしょう。

問2 言語に関する問題です。ラテン系言語であることから、ラテンアメリカ（南アメリカ大陸）の国を選択できます。同じラテン系言語であるスペイン語が母国語のメキシコを選択しないように注意しましょう。

問3 民族に関する問題です。ニュージーランドのマオリやオーストラリアのアボリジニは頻出する民族であると同時に、地域的にも近いので区別できるようにしましょう。

問4 2025年の大阪・関西万博のスローガンを答える時事問題です。

【2】は日本地理（関西地方）に関する問題です。

問1 基本的な問題です。地図から都道府県名を選ぶ問題となっています。

問2 日本の標準時子午線を答える問題です。兵庫県明石市などを通っていることや東経 135度も併せて理解しておきましょう。

問3 滋賀県に関する問題です。琵琶湖は宇治川、木津川などの川と合流して大阪湾に注いでいます。古くから水上交通路として、人や物資を運んでいました。

問4 三重県に関する問題です。梅の生産量は、和歌山県が全国1位で、三重県は6位です（令和6年度）。三重県はコメや茶など栽培しており、松阪牛などブランド牛を生産するなど牧畜も盛んです。

## ◎歴史

### 【3】古代

- ・古代の税制に関する出題ですが、基本的な語句を問う設問です。「衛士」を答える問題が少し難しいかもしれません。本籍地を捨てる行為は「浮浪」でも「逃亡」でも可とします。「三世一身法」と「墾田永年私財法」については、混同しないようにしてください。
- ・正文を選ぶ問題について、戸籍をごまかす行為を偽籍と呼びますが、登録者に女性が多かった理由としては、この設問のテーマである古代の税制と関わります。男性に比べ税負担の比較的軽かった女性の人数を多くすることで、税逃れをしていたと考えられます。

### 【4】織豊時代

- ・織豊政権時代の設問でも、基本的な語句を問う設問がほとんどです。この大問では得点を多く取れる部分だと思います。新大陸からもたらされた作物の設問では、サツマイモと答えそうになりますが、サトウキビが正解です。
- ・正文を選ぶ問題について、織田信長がキリスト教を保護した理由に関しては、仏教勢力に対抗し、おさえるためのものでした。
- ・豊臣秀吉や徳川将軍を答える問題は基本的な問題です。

### 【5】近代

- ・第一次世界大戦後の日中関係をテーマとした設問です。第一次関大戦中に日本は中華民国に対して、「二十一か条の要求」を中国に突きつけました。そのことが日中関係を悪化させ、国際会議（ワシントン会議）でも議題の一つになってきます。この会議で中国に関わる条約を日本が結ぶことで、日本が大戦中に占領した青島をはじめとした山東半島の利権に関する問題に一区切りがつけました。
- ・決着したかに見えた日中関係ですが、満州事変により一変します。アメリカとイギリスに歩調を合わせた協調外交も終わりとなります。日中戦争に関する問題は基本的なものですが、近現代史では、国と国とのやり取りである「外交」にも注目して理解を深めましょう。

◎公民

【6】現代に関連する問題です。

現代を取り巻く課題に関連する問題を中心に出题しました。

普段からニュースなどに目を通してください。

所得税に関する問題は、少し難しかったかもしれませんが、よくニュースで目にしたと思うので、できてほしいと思います。

また、知識を問う問題においては、基礎的な事項ばかりでした。

教科書を中心に出题しました。